|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | 小児看護学概論 | 単位数 | １単位 | 時間数 | 30時間 | |
| 担 当 者 | 治郎丸　倫子  (臨床経験10年) | 学　年 | １学年 | 開講年次 | ２学期 | |
| 目的 | 子どもの成長・発達の特徴を理解し、健全な成長・発達を促すための関わり方について学ぶ。また、子どもを取り巻く保健・医療・福祉について学ぶ。 | | | | | |
| 科目目標 | 1. 子どもと家族の概況・倫理的観点を知り、小児看護の役割と課題を理解する   ２．子どもの成長・発達の基本的な原則を理解する。  ３．各発達段階に応じた子どもの成長・発達を理解する。  ４．子どもと家族を取り巻く環境や社会を理解する。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・授業内容 | | | | | 方法 |
| 1回～  2回  3回  4回～  10回  11回  12回  13回  14回  15回 | １．小児看護の特徴と理念  １）小児医療・看護の変遷と課題２）小児看護の目標と役割  ３）小児医療・小児看護における倫理  ２．子どもの成長・発達  　１）成長・発達とは　　　　　　２）成長・発達の進み方  ３）成長・発達に影響する因子　４）成長・発達の評価  ３．各発達段階の子どもの成長・発達と支援  １）形態的特徴と身体生理の特徴、各機能の発達  ２）知的発達と心理社会的適応に対する問題と支援方法  ４．家族の特徴と家族アセスメント  　１）家族とは ２）現代家族の特徴  ３）家族アセスメント  ５．子どもと家族を取り巻く環境と入院環境  １）児童福祉 ２）母子保健　３）医療費の支援  ４）予防接種　５）学校保健　　６）食育  ７）特別支援教育　　８）臓器移植法  ６．まとめ・終了試験（45分） | | | | | 講義  講義  講義  　グループワーク  演習  講義  講義 |
| 准看時  授業内容 | 母子看護、人間と生活・社会、栄養、保健医療福祉の仕組み、看護と法律 | | | | | |
| 教科書  参考書 | 教科書：『系統看護学講座　専門分野　小児看護学〔1〕小児看護学概論　小児臨床看護総論』 医学書院  参考書：『国民衛生の動向』 財団法人厚生統計協会 | | | | | |
| 評価方法 | 筆記試験 | | | | | |
| 関連科目 | 心理学、人間関係論、看護倫理、社会福祉、公衆衛生、母性看護学概論 | | | | | |
| 備考 | 小児看護の対象である子どもについて理解を深めましょう。子どもを取り巻く環境として、現代家族・社会の状況を学習します。子どもに関する施策や多発する事故について関心を持ち、新聞記事やニュースを見て下さい。 | | | | | |